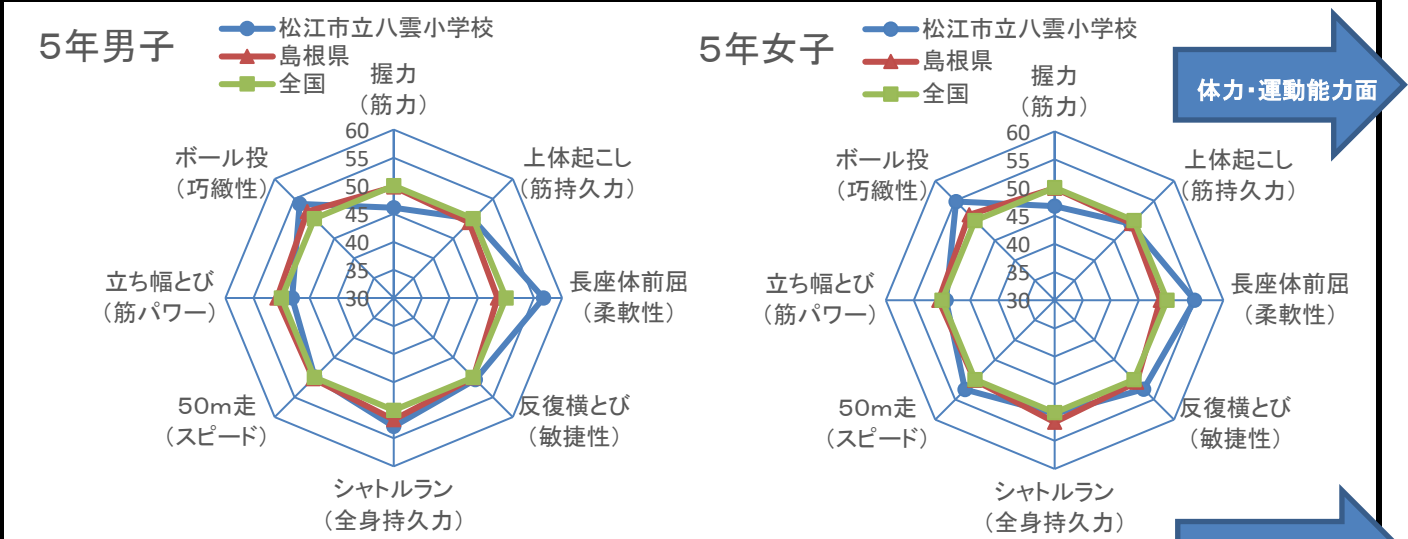
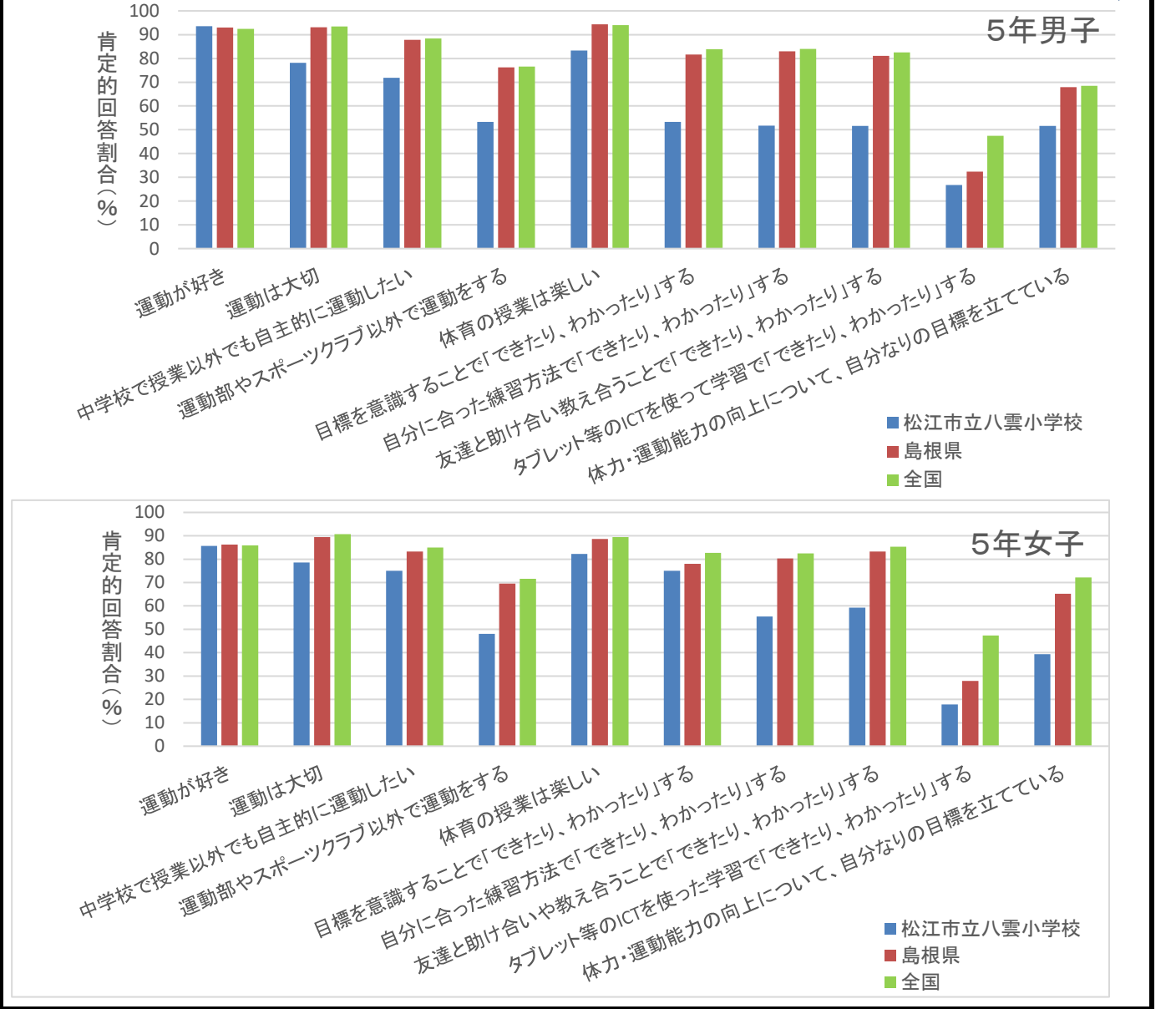


松江市立八雲小学校

(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

①体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	-3.9	-0.1	6.7	0.6	2.9	-0.1	-1.9	3.7
女子	-3.3	-0.8	4.9	2.4	0.2	2.5	-0.7	4.8

【-5p以上】

【-5~-2p】

【-2~0p】

【0~2p】

【2~5p】

【5p以上】

弱み

強み

②意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することのできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いでできたりわかったりする
男子	1.2	-15.2	-16.5	-23.3	-10.7	-30.6	-32.3	-30.9
女子	-0.2	-12.1	-10.0	-23.5	-7.3	-7.7	-27.0	-26.1

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする

体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

| 男子 | -20.8 | -16.9 | | | | | | |
| 女子 | -29.6 | -32.9 | | | | | | |

【-7%以上】

【-7~-3%】

【-3~0%】

【0~3%】

【3~7%】

【7%以上】

弱み

強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
- ・年度初めの職員会議で体育学習の基盤となる考え方の教職員の理解を深め、授業の統一化及びその充実を図る。
 - ・積極的に研修会等へ参加し、校内へ情報を発信・伝達していく。
 - ・松江市体育部の研究に合わせ、ゲーム領域(中学年 テニピン)の授業研究をしていく。
 - ・鉄棒運動については低学年からの身につけさせたい力を明確にし、系統的な指導をしていく。
 - ・「五種目歩走」を積極的に取り入れていく。
- ②体育科授業の工夫・改善について
- ・タブレットなどICT機器について効果的な活用方法について研修をしていく。
 - ・ボール運動やゲーム領域で、自分たちでルールをつくったり、学年・学級内で対抗戦を実施したりするなど、子ども達が主体的・意欲的に取り組む機会を増やす。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
- ・ロードレース大会や縄跳び集会を今後も継続して実施していく。
 - ・全校共通のマラソンカードなど、全校一斉に行う取り組みを継続し、学校としての気運を盛り上げる。
 - ・松江市の器械運動発表会へ参加し、それに向けた校内の取り組みを行う。
 - ・委員会活動や学級での話し合いを通して、外遊びを積極的に行うように仕組んでいく。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・子どもたちの一人一人の体力について「限界に挑戦」を通した個別の発信、「体育だより」など学校全体としての情報発信を行う。
 - ・「すこやかチャレンジシート」については、内容や保護者への呼びかけの仕方などを検討し、より効果的なものにしていく。